

科目番号	教室	登録人数	履修登録方法
CED11070	[火6]文講112	35	抽選対象
開講年度	期間	曜日時限	開講学部等
2025	第2クォーター	火6	地域共創研究科地域共創専攻
講義コード	科目名[英文名]	単位数	
C00112001	地域共創入門	1	
担当教員[ローマ字表記]			
越智 正樹			

授業の形態

講義、演習又は実験

アクティブラーニング

学生が議論する、学生が自身の考えを発表する

授業内容と方法

本授業は、地域共創研究科全院生の必修講義2つのうちの1つです。

本研究科は5つの学位プログラムから成っていますが、1専攻の研究科として全プログラムに共通する上位ミッションを有しています。そのミッションのうち本授業は、「現代の地域社会及びグローバル社会の直面する多様な課題を俯瞰的に理解できる高度専門職業人」を、「他地域にはない沖縄の地域としての特性を教育の資源として活用しつつ」育成するというミッションに対応しています。

この「多様な課題」と「沖縄の地域としての特性」に関連して本授業では、「サステナビリティ」「沖縄・島嶼」「観光・交流」という3つの柱を立て、地域共創の基礎を学びます。各柱は「座学1回＋グループワーク1回」のセットで構成されており、グループワークでは他分野の院生との共学を促し協働の基礎的経験を得ます。

URGCC学習教育目標

社会性、地域・国際性、コミュニケーション・スキル、問題解決力

達成目標

- ①サステナビリティ、沖縄・島嶼、観光・交流の各観点から、地域共創の具体像を理解する。【地域・国際性】【問題解決力】
- ②他分野の人と意見交換や意思疎通をしながら協働して作業を進めることができる。【社会性】【コミュニケーション・スキル】

評価基準と評価方法

以下の課題点（80点満点）を100点満点に換算して評価します。

- ・座学の回（下記「授業計画」のAの回）に課すグラスプシート
10点×5回＝50点満点
- ・グループワーク課題（授業内作成）
10点×3回＝30点満点

※グループワークは遠隔参加ができません。欠席者のうち、個人の責に帰さない事由によるものと担当教員が認めた人には、代替課題を課します。

履修条件

地域共創研究科限定。

必修科目（R6年度以降入学生）。

授業計画

※以下、A＝座学・ハイブリッド授業（対面、リアルタイム遠隔、オンデマンド）、B＝グループワーク・対面授業

6/17 第1回(A) 人文・社会科学と本研究科のミッション：地域共創とは

6/24 第2回(A) サステナビリティと地域共創1

7/1 第3回(B) サステナビリティと地域共創 2
7/8 第4回(A) 沖縄・島嶼と地域共創 1
7/15 第5回(B) 沖縄・島嶼と地域共創 2
7/22 第6回(A) 観光・交流と地域共創 1
7/29 第7回(B) 観光・交流と地域共創 2
8/5 第8回(A) 琉球大学における地域連携

■ ■ 事前学習

各回の授業に臨む際に、前回の座学内容を復習しておくことが求められます。
特にグループワークの回において、この復習は極めて重要です。

■ ■ 事後学習

授業中に提示されるグラスブシート課題に取り組むことが必須です。

■ ■ 教科書にかかわる情報

■ ■ 教科書全体備考

■ ■ 参考書にかかわる情報

■ ■ 参考書全体備考

■ ■ 使用言語

日本語

■ ■ メッセージ

3回のグループワークは遠隔参加ができません。もしも個人の責に帰さない事由で出席できない場合は、事前にメールで連絡してください。

■ ■ オフィスアワー

指定しません。相談等がある場合はまずメールで連絡してください。

■ ■ メールアドレス

この項目は教務情報システムにログイン後、表示されます。

■ ■ URL